

# 資料室便り

交通専門図書館  
交通経済研究所資料室

本年は鉄道開業 150 年を機会に所蔵している関連図書を紹介しました。これからも交通関連の図書を受け入れ、そしてみなさまにお伝えします。

## 新着書棚から (新しく受け入れた資料の紹介)

### 『新・ロジスティクスの歴史物語』

—江戸から令和まで—

苦瀬博仁著／白桃書房発行／2022 年 8 月／四六判／320 ページ／2,500 円 (税込)

ロジスティクスは私たちの生活や産業に欠かせないものであり、それがゆえにいろいろな街の成り立ち (特産品輸送と河川舟運, 地場産業と原材料調達など) にも深く関わっている。本書は、平時はあまり目立たないロジスティクスについて分かりやすく解説するとともに、流通システムが確立された江戸時代から現在までの歴史を掘り下げ、ロジスティクスが街に深く関わってきた事例を取り出したものである。そして、過去・現在を踏まえた令和時代のロジスティクスのあり方を展望している。

目次：江戸の街とロジスティクス／江戸時代の廻船・舟運・陸の道／明治時代の殖産興業と鉄道／太平洋戦争終結までの兵站／戦後から平成までのロジスティクスの変遷／平成時代のロジスティクスの課題／平成から令和にかけての出来事／令和時代に始まるソーシャル・ロジスティクス 原□

### 『応援消費—社会を動かす力』

水越康介著／岩波書店発行／2022 年 7 月／新書判／222 ページ／968 円 (税込)

本書は、マーケティングの研究者 (東京都立大学教授) が応援消費 (苦境の人や企業を消費で支援する動き) という言葉に焦点を当て、コロナ禍の中で変わりゆく社会と、その社会を動かす力を明らかにしたものである。日本において、陰徳の文化の影響もあり寄付は目にみえにくいものであるが、贈与のパラドックスによって、市場と結びつき交換化され、自分の手元に何かが残る応援消費が生まれた。この応援消費を詳細に捉えるにあたり注目される制度として、2008 年に運用が開始された形式的には寄付であるふるさと納税がある。そして、応援消費という言葉は、2011 年の東日本大震災を契機に使われ始め、2020 年からのコロナ禍において広く一般化した。

目次：応援消費の広まり／寄付とボランティア／ふるさと納税にみる返礼品競争／世界における応援消費／ほか 古森□

## 書庫のなかから (所蔵資料の紹介)

### 鉄道開業 150 年 1872～2022 年

#### 第 9 回 (完)：鉄道史に関する研究書・概説書

鉄道開業 150 年にあたり、「資料室便り」では、4 月号より所蔵資料のなかから鉄道事業者が記録／編さんした文献を紹介してきました。最後に、日本の鉄道を第三者の目線でまとめた研究書や概説書をお届けします。最近も類書が数多く発行されていますので、別の機会に改めてご紹介したいと思います。

- 1 提要鉄道発達史 植田啓次 1909 年 4 月
- 2 私鉄物語 清水啓次郎 春秋社 1930 年 3 月
- 3 物語日本鉄道史 (前篇／後篇) 渋沢誠次 博文館 1942 年 10 月
- 4 国有鉄道の史的発展 大島藤太郎 伊藤書店

- 1949年6月
- 5 日本資本主義と国有鉄道 島恭彦 日本評論社 1950年9月
  - 6 日本鉄道創設史話——鉄道創設八十周年記念出版 石井満 法政大学出版局 1952年10月
  - 7 日本経済と国有鉄道 東洋経済新報社編 同社 1962年12月
  - 8 日本私有鉄道史研究——都市交通の発展とその構造 中西健一 日本評論新社 1963年11月
  - 9 明治維新の政局と鉄道建設 田中時彦 吉川弘文館 1963年3月
  - 10 国鉄——「弁慶号」から「夢の超特急」まで 青木槐三 新潮社 1964年8月
  - 11 新日本鉄道史(上/下) 川上幸義 鉄道図書刊行会 1967年7月/1968年9月
  - 12 日本の私鉄 和久田康雄 岩波書店 1981年6月
  - 13 日本の鉄道——100年の歩みから 原田勝正, 青木栄一 三省堂 1973年2月
  - 14 日本の鉄道——成立と展開 野田正穂, 原田勝正, 青木栄一, 老川慶喜編 日本経済評論社 1986年5月
  - 15 鉄道政策論の展開——創業からJRまで120年 運輸経済研究センター編 白桃書房 1988年5月
  - 3 観光の実態と志向 令和4年度版 日本観光振興協会編 同法人 2022年9月
  - 4 なごや街と交通の一世紀——名古屋市営交通100周年写真集 樹林舎 同社 2022年8月
  - 5 すべてのカーブにはわけがある——曲がる線路の物語 米屋こうじ 交通新聞社 2022年8月
  - 6 みんなでつなげる鉄道150年 横浜市歴史博物館編 横浜市ふるさと歴史財団 2022年
  - 7 国鉄——「日本最大の企業」の栄光と崩壊 石井幸孝 中央公論新社 2022年8月
  - 8 世界の高速鉄道——最新車両から時速600キロのリニアまで 木村直之編 ニュートンプレス 2022年9月
  - 9 なぜ東急沿線に住みたがるのか——「ブランド路線」再考 永江朗 交通新聞社 2022年8月
  - 10 数字でみる港湾2022年版 国土交通省港湾局監修 日本港湾協会 2022年8月

<外国書>

- 11 Pandemic in the Metropolis——Transportation Impacts and Recovery Anastasia Loukaitou-Sideris, ほか編 Springer 2022年9月
- 12 Janes World Railways 2022-2023 Ankush Singh, ほか編 Jane's Group UK 2022年

上記の図書はすべて資料室で所蔵しています。紹介できなかった図書も多数ありますので、ぜひ資料室にお越しになり手に取ってご覧ください。また、来年も引き続き本誌特集などに関連する所蔵図書をご紹介します。 土方□□

新着情報 (2022年10月分)

\*資料室で入手した主要図書をお伝えします。

記事の構成：書名、編著者名、発行所、発行年月

<和書>

- 1 機能安全の基礎と応用——自動車・鉄道分野を通して学ぶ 信頼性技術叢書編集委員会監修 日科技連出版社 2022年8月
- 2 新・ロジスティクスの歴史物語——江戸から令和まで 苦瀬博仁 白桃書房 2022年8月

交通経済研究所資料室のご案内

所蔵資料の一部を公開しています。詳細につきましては、ホームページをご覧ください。同ページではみなさまから所蔵資料に関する相談をお受けする「お問い合わせフォーム」を設けています。

一般財団法人 交通経済研究所 資料室

住所：東京都台東区上野7-1-1

電話：03-3841-4165 郵便番号：〒110-0005

ホームページ：https://www.itej.or.jp

最寄駅：JR/東京メトロ 上野駅から徒歩3分

担当：土方規義 古森崇史 原祥太 田邊由佳